

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的な状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	◎	その他専門店 [陶器]（製造）	販売量の動き	・秋にイベントが集中しているため、販売量が増加している。
	◎	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・8月の販売室数が前年比2%減少なのにに対し、11月は前年比7%増加に転じている。
	○	一般小売店 [土産]（営業部長）	来客数の動き	・国内観光客や、欧米からのインバウンド増加が影響している。
	○	百貨店（経営担当）	販売量の動き	・11月以降は平均気温が低下したことから、秋冬衣料品の販売量が増加している。
	○	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・客単価は105%以上の伸びを維持しており、来客数も102%の伸びをみせている。年末商戦を控えるなか、顧客の購買意欲も維持できる見通しである。今後は、インパクトのある販売促進の提案が必要となる。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加により売上が若干伸びている。
	○	その他専門店 [書籍]（部長）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年を上回っている。
	○	その他飲食店 [バー]（経営者）	来客数の動き	・前月に続いて来客数が増えている。ただし、県外客が多く、地元客はそこまで増えていないため、まだ不安がある。
	○	観光型ホテル (専務取締役)	来客数の動き	・11月の宿泊者数が目標値と前年比を上回るとみられる。
	○	観光名所（職員）	単価の動き	・料飲部門がインバウンドを中心に購入単価が上がっている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・業態が変わりつつあり、小売店が厳しい状況で、飲食店等が増加している。飲食店だけが増加を続けていいのか判断ができないため、難しい状況となっている。
	□	一般小売店 [酒]（店長）	販売量の動き	・景気は今後上向きに回復すると期待している。
	□	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・3か月前は旧盆前の繁忙期に当たるため単純な比較は難しいものの、今月は9月と同程度の売上となっている。
	□	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数は、10月がそれなりに多かったが、11月は季節の変わり目で閑散期となるため、減少している。
	□	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・前年の省エネ家電買換えキャンペーンの反動減と気温の低下が大きな要因となり、売上比率の高い、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビを求める客が前年割れしている。
	□	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・新車販売は依然として厳しい状況が続いているが、前年、前々年と比べても下回っている状況が続いている。
	□	観光型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・オフシーズンに入ったものの例年より予約状況が良く、落ち込みが少ないとみている。
	□	旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・航空会社や宿泊施設などが連休以外の時期にバーゲンセールをする回数が増えている。日付の並びが良いところは旅費が高くなるが、需要は増えている。
	□	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・販売動向は変わらず、需要は一定である。問合せ件数や契約形態に多少の変化はあるが、販売数全体への影響は限定的である。
	□	住宅販売会社 (役員)	競争相手の様子	・地価の上昇に伴い、立地条件の良いマンション用地や戸建て住宅用地の仕入れが難しくなっており、同業他社も含め供給が減少傾向になるとみられる。
	□	住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・前月から引き続き、建売物件の問合せが好調である。
	▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・食品から日用品まで、値上げが続いていることもあり、販売量が徐々に落ち込んできている。売上金額は、直近と同等か微減している状況である。

	▲	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・天候の影響が大きく、来客数が減少傾向に転じている。
	▲	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・客の流れが悪くなっている。
	×	その他飲食店〔ファーストフード〕（総務部）	来客数の動き	・8月の繁忙期と比べるとやや悪いが、前年比では売上は上がっている。
企業動向関連 (沖縄)	◎	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は順調で、今月も大型工事を受注している。他社の受注状況も良いと聞いているため、しばらく良い状況が続くとみられる。
	○	輸送業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べ増収増益である。
	○	通信業（総務）	それ以外	・観光におけるインバウンドが依然として多く、レジャーイベント会場はにぎやかな状況がみられる。
	□	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・観光客数は、新型コロナウイルス感染症発生前を超える月が続き、好調に推移している。観光関連の業種は好調のようだが、スーパーなど一般の消費は引き続き厳しいようにみられる。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積依頼は3か月前と比較すると、公共、民間共に大きな変化はなく横ばいの状況である。
	□	輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・年末年始、クリスマス等の催事のため、物量、発注量が増加傾向にあるが、例年どおりに推移している。
	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・物価がどこで高止まりするか先が見えていない。賃上げが物価高をカバーできるかどうかで状況が変化する。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
雇用関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人はあるものの、求職者の動きが相変わらず鈍いため、今後年末に向けて更に人手不足感が続くとみられる。
	□	職業安定所（職員）	求人件数の動き	・前年同月比で求人件数は減少したが、求人者から人手不足の相談は多い。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・物価高の継続が一番の要因とみられる。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人件数の動き	・全体的に12月の最低賃金引上げ前から人手不足感は続いているが、求人を増やしても採用できないといった声や採用コストが見合わない等の理由で求人件数は減少している。ただし、コンビニやスーパー、観光関連では、年末年始の繁忙期に向けて求人件数が微増している。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・例年は、この時期でも来春卒業予定者の求人が来ていたが、前月からほとんど動きがみられない。人材が充足したのか、若しくはAIを業務に取り入れることでの必要人材の減少を懸念している。
	×	—	—	—